

## 第2章 広域的條件

### 2-1 広域条件

#### 1. 人口関連

##### (1) 昼夜間人口と就業、通学人口→都市性格分類

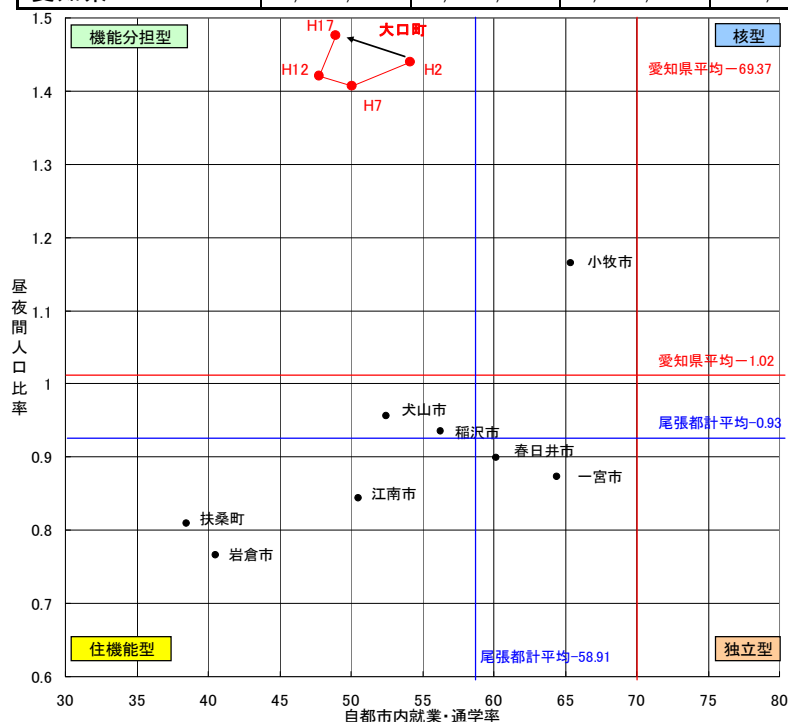
本町の昼夜間人口と就業、通学人口の状況を愛知県下並びに尾張都市計画区域での状況と比較して都市の性格分類を検討した。

本町の昼夜間人口比率は、愛知県平均及び尾張都市計画区域と比べ、非常に流入超過が高い都市となっており、自都市内就業、通学率については、50%前後となっており、愛知県平均や尾張都市計画区域平均に比べ低くなっている。

この関連性から本町は、周辺都市等の『機能分担型』の都市性格を担っている状況にある。

表 本町並びに周辺都市の昼夜間人口と就業、通学人口状況(資料：国勢調査)

区分	夜間人口(人)	昼間人口(人)	就業通学人口(人)	自都市内就業通学人口(人)	自都市外就業通学(人)	昼夜間人口比率	自都市就業通学率(%)
大口町 平成2年	17,464	25,152	13,095	7,087	6,008	1.44	54.12
大口町 平成7年	19,031	26,763	13,750	6,891	6,859	1.41	50.12
大口町 平成12年	20,633	29,317	14,013	6,699	7,314	1.42	47.81
大口町 平成17年	21,602	31,872	14,322	7,015	7,307	1.48	48.98
一宮市	371,362	323,883	243,313	156,845	86,468	0.87	64.46
犬山市	74,172	70,842	47,571	24,963	22,608	0.96	52.48
江南市	98,836	83,389	64,111	32,404	31,707	0.84	50.54
小牧市	146,227	170,233	98,916	64,647	34,269	1.16	65.36
稲沢市	136,931	128,031	91,841	51,712	40,129	0.94	56.31
岩倉市	47,878	36,696	31,884	12,927	18,957	0.77	40.54
春日井市	294,512	264,596	189,825	114,243	75,582	0.90	60.18
扶桑町	32,534	26,316	20,690	7,959	12,731	0.81	38.47
尾張都市計画区域	1,224,054	1,135,858	802,473	472,715	329,758	0.93	58.91
愛知県	7,219,132	7,341,385	4,815,863	3,340,720	1,475,143	1.02	69.37



※都市性格概要

**核型**：自都市内で働く人が多く、就業、通学者を含めた昼間の人口が多い都市であり、生活圏における中心都市として機能

**独立型**：自都市内で働く人は多いが、昼間の人口は多くない都市であり、1都市である程度独立した生活圏を形成

**住機能型**：自都市内で働く人が少なく、夜間の人口が多い都市であり、周辺都市などのベッドタウンとして機能

**機能分担型**：自都市内で働く人は少ないが、昼間の人口が多い都市であり、職などの機能に特化

(2) 人口増加率と65歳以上人口割合

本町の人口増加率(平成12年→平成17年)は、4.70%で愛知県平均(2.91%)、尾張都市計画区域平均(2.19%)より高く、尾張都市計画区域の都市の中で最も高い増加率を示し、愛知県下で17番目となっている。

65歳以上人口割合は、16.8%で愛知県平均(17.3%)、尾張都市計画区域平均(17.5%)より低い本町も高齢社会(一般に14~21%)へ移行しており、愛知県下で36番目となっている。

表 本町並びに愛知県下の都市の人口増加率と65歳以上人口増加率

	都市名	人口増加率		都市名	65歳以上人口割合
1	三好町	15.23%	1	豊根村	44.8%
2	日進市	10.69%	2	東栄町	44.7%
3	高浜市	7.80%	3	設楽町	41.0%
4	刈谷市	7.09%	4	南知多町	26.7%
5	甚目寺町	6.86%	5	新城市	25.5%
6	長久手町	6.85%	6	飛島村	24.5%
7	安城市	6.71%	7	常滑市	22.8%
8	豊根村	6.39%	8	幡豆町	22.5%
9	東郷町	6.36%	9	一色町	22.1%
10	大府市	6.22%	10	蒲都市	21.3%
11	幸田町	6.15%	11	吉良町	20.8%
12	東浦町	5.99%	12	田原市	20.3%
13	知立市	5.29%	13	阿久比町	19.8%
14	碧南市	5.03%	14	小坂井町	19.7%
15	大治町	5.01%	15	愛西市	19.7%
16	岡崎市	4.90%	16	犬山市	19.6%
17	大口町	4.70%	17	瀬戸市	19.5%
18	半田市	4.32%	18	津島市	19.4%
19	尾張旭市	4.25%	19	蟹江町	19.2%
20	東海市	4.23%	20	扶桑町	19.0%
21	豊山町	4.16%	21	美浜町	18.7%
22	豊田市	4.10%	22	七宝町	18.6%
23	知多市	3.40%	23	一宮市	18.4%
24	西尾市	3.37%	24	清須市	18.3%
25	北名古屋	3.01%	25	江南市	18.3%
26	豊川市	2.84%	26	美和町	18.1%
27	春日井市	2.77%	27	豊橋市	17.8%
28	小牧市	2.76%	28	豊川市	17.8%
29	豊明市	2.62%	29	稲沢市	17.7%
30	扶桑町	2.48%	30	碧南市	17.7%
31	春日町	2.45%	31	弥富市	17.5%
32	一宮市	2.41%	32	尾張旭市	17.4%
33	武豊町	2.41%	33	西尾市	17.2%
34	犬山市	2.30%	34	半田市	17.1%
35	阿久比町	2.23%	35	北名古屋	16.8%
36	岩倉市	2.13%	36	大口町	16.8%
37	常滑市	2.11%	37	春日井市	16.7%
38	豊橋市	2.05%	38	春日町	16.6%
39	七宝町	1.89%	39	豊明市	16.6%
40	吉良町	1.75%	40	東浦町	16.4%
41	蟹江町	1.39%	41	知多市	16.2%
42	田原市	1.29%	42	岩倉市	16.1%
43	江南市	1.14%	43	高浜市	16.0%
44	小坂井町	0.99%	44	東海市	15.7%
45	弥富市	0.93%	45	武豊町	15.7%
46	美浜町	0.80%	46	岡崎市	15.4%
47	清須市	0.26%	47	豊山町	15.3%
48	瀬戸市	0.21%	48	小牧市	15.2%
49	津島市	0.19%	49	幸田町	15.1%
50	稲沢市	0.02%	50	大府市	14.7%
51	蒲都市	0.00%	51	甚目寺町	14.7%
52	愛西市	-0.06%	52	東郷町	14.7%
53	美和町	-0.39%	53	日進市	14.6%
54	一色町	-1.13%	54	知立市	14.5%
55	幡豆町	-1.45%	55	豊田市	14.2%
56	新城市	-2.73%	56	安城市	13.9%
57	飛島村	-3.57%	57	刈谷市	13.7%
58	南知多町	-6.12%	58	大治町	13.6%
59	東栄町	-8.51%	59	長久手町	11.2%
60	設楽町	-10.36%	60	三好町	10.5%
	市部	3.24%		市部	16.9%
	町村部	3.96%		町村部	17.2%
	尾張都計	2.19%		尾張都計	17.5%
	愛知県	2.91%		愛知県	17.3%

(資料：人口増加率平成12、17年国勢調査、65歳以上人口割合平成17年国勢調査)

## 2. 産業関連

## (1) 農業

農業関連としては、本町の第1次産業就業人口が3.08%で、愛知県(2.65%)や尾張都市計画区域(1.98%)と比較すると若干高く、愛知県下で28番目となっている。

また、農業粗生産額は67千万円で、愛知県で44番目であり、農家1戸あたりの粗生産額は0.98百万円/戸と愛知県(3.57百万円/戸)や尾張都市計画区域(1.29百万円/戸)より低い状況となっている。

表 本町並びに愛知県下の都市の第1次産業就業人口と農家1戸あたりの粗生産額状況(資料：平成17年国勢調査、平成17年愛知農林水産統計年報)

都市名	農業従事者割合	都市名	農業粗生産額	都市名	1農家あたり粗生産額
1 田原市	31.80%	1 田原市	7,794千円	1 田原市	17.07百万円/戸
2 設楽町	21.32%	2 豊橋市	4,952千円	2 半田市	9.67百万円/戸
3 飛鳥村	12.41%	3 豊川市	1,934千円	3 豊橋市	8.35百万円/戸
4 豊根村	12.12%	4 西尾市	1,197千円	4 南知多町	7.13百万円/戸
5 吉良町	10.77%	5 豊田市	1,155千円	5 吉良町	5.99百万円/戸
6 愛西市	10.30%	6 安城市	1,014千円	6 碧南市	5.95百万円/戸
7 新城市	9.96%	7 稲沢市	1,002千円	7 武豊町	5.63百万円/戸
8 東栄町	8.79%	8 愛西市	987千円	8 蒲郡市	5.57百万円/戸
9 南知多町	7.48%	9 岡崎市	874千円	9 一色町	5.56百万円/戸
10 豊川市	7.22%	10 半田市	787千円	10 美浜町	5.27百万円/戸
11 美浜町	6.83%	11 蒲郡市	691千円	11 豊川市	5.20百万円/戸
12 豊橋市	6.78%	12 新城市	685千円	12 東浦町	4.90百万円/戸
13 一色町	6.70%	13 碧南市	679千円	13 阿久比町	4.63百万円/戸
14 稲沢市	6.61%	14 吉良町	672千円	14 小坂井町	4.54百万円/戸
15 小坂井町	6.32%	15 一宮市	563千円	15 常滑市	4.45百万円/戸
16 春日町	6.25%	16 南知多町	479千円	16 西尾市	4.40百万円/戸
17 弥富市	5.46%	17 常滑市	476千円	17 大府市	4.08百万円/戸
18 幡豆町	5.34%	18 美浜町	461千円	18 設楽町	4.06百万円/戸
19 幸田町	5.33%	19 弥富市	405千円	19 東海市	3.81百万円/戸
20 蒲郡市	4.92%	20 東海市	403千円	20 安城市	3.78百万円/戸
21 西尾市	4.91%	21 一色町	400千円	21 愛西市	3.24百万円/戸
22 阿久比町	4.63%	22 大府市	367千円	22 幸田町	2.86百万円/戸
23 碧南市	4.38%	23 設楽町	342千円	23 幡豆町	2.54百万円/戸
24 常滑市	3.90%	24 幸田町	337千円	24 高浜市	2.52百万円/戸
25 美和町	3.34%	25 東浦町	332千円	25 弥富市	2.41百万円/戸
26 安城市	3.28%	26 武豊町	273千円	26 飛鳥村	2.28百万円/戸
27 東海市	3.09%	27 阿久比町	265千円	27 稲沢市	2.19百万円/戸
28 大口町	3.08%	28 知多市	243千円	28 春日町	2.05百万円/戸
29 知多市	2.96%	29 刈谷市	196千円	29 新城市	1.91百万円/戸
30 東浦町	2.73%	30 小牧市	192千円	30 三好町	1.87百万円/戸
31 三好町	2.70%	31 小坂井町	192千円	31 知多市	1.84百万円/戸
32 津島市	2.52%	32 津島市	174千円	32 岡崎市	1.83百万円/戸
33 豊田市	2.42%	33 三好町	156千円	33 瀬戸市	1.63百万円/戸
34 大府市	2.41%	34 春日井市	135千円	34 津島市	1.54百万円/戸
35 甚目寺町	2.12%	35 瀬戸市	116千円	35 豊田市	1.48百万円/戸
36 北名古屋市	2.10%	36 飛鳥村	115千円	36 大治町	1.27百万円/戸
37 犬山市	1.97%	37 犬山市	112千円	37 小牧市	1.23百万円/戸
38 武豊町	1.92%	38 江南市	110千円	38 東栄町	1.20百万円/戸
39 岡崎市	1.89%	39 幡豆町	106千円	39 蟹江町	1.17百万円/戸
40 大治町	1.86%	40 高浜市	86千円	40 東郷町	1.14百万円/戸
41 七宝町	1.81%	41 豊明市	84千円	41 刈谷市	1.12百万円/戸
42 半田市	1.78%	42 美和町	83千円	42 美和町	1.10百万円/戸
43 豊山町	1.70%	43 北名古屋市	78千円	43 長久手町	1.08百万円/戸
44 岩倉市	1.62%	44 大口町	67千円	44 岩倉市	1.07百万円/戸
45 東郷町	1.54%	45 岩倉市	63千円	45 一宮市	1.06百万円/戸
46 一宮市	1.53%	46 東郷町	60千円	46 扶桑町	1.05百万円/戸
47 刈谷市	1.53%	47 日進市	57千円	47 豊明市	1.04百万円/戸
48 清須市	1.50%	48 蟹江町	57千円	48 大口町	0.98百万円/戸
49 小牧市	1.49%	49 扶桑町	53千円	49 甚目寺町	0.96百万円/戸
50 高浜市	1.41%	50 清須市	52千円	50 江南市	0.92百万円/戸
51 蟹江町	1.39%	51 甚目寺町	52千円	51 北名古屋市	0.83百万円/戸
52 豊明市	1.35%	52 知立市	51千円	52 知立市	0.81百万円/戸
53 日進市	1.35%	53 春日町	51千円	53 犬山市	0.74百万円/戸
54 江南市	1.22%	54 東栄町	48千円	54 春日井市	0.72百万円/戸
55 知立市	1.19%	55 大治町	47千円	55 豊根村	0.72百万円/戸
56 扶桑町	1.19%	56 長久手町	45千円	56 尾張旭市	0.64百万円/戸
57 長久手町	0.95%	57 七宝町	39千円	57 清須市	0.64百万円/戸
58 春日井市	0.91%	58 尾張旭市	18千円	58 日進市	0.61百万円/戸
59 瀬戸市	0.64%	59 豊根村	12千円	59 七宝町	0.60百万円/戸
60 尾張旭市	0.44%	60 豊山町	11千円	60 豊山町	0.38百万円/戸
市部	3.60%	市部	27,732千円	市部	3.80百万円/戸
町村部	3.77%	町村部	4,755千円	町村部	3.09百万円/戸
尾張都計	1.98%	尾張都計	2,297千円	尾張都計	1.29百万円/戸
愛知県	2.65%	愛知県	32,750千円	愛知県	3.57百万円/戸

大口町都市計画マスタープラン

(2) 工業

工業関連としては、尾張都市計画区域の第2次産業人口割合は愛知県平均と同程度で、従業員1人あたりの製造品出荷額は愛知県平均より低い状況となっている。そのような中、本町の第2次産業就業人口は、42.65%と愛知県下で14番目に高い状況にあり、愛知県(34.35%)や尾張都市計画区域(34.27%)より高い状況となっている。また、本町の製造品出荷額は、460,588百万円と愛知県下で22番目となっており、従業員1人あたり製造品出荷額は、34.26百万円/人と愛知県(54.18百万円/人)より低く、尾張都市計画区域(33.72百万円/人)より若干高い状況となっている。

表 本町並びに愛知県下の都市の第2次産業就業人口と1従業員あたり製造品出荷額状況

都市名	第2次産業割合	都市名	製造品出荷額	都市名	1従業員あたり製造品出荷額
1 高浜市	52.87%	1 豊田市	13,242,786百万円	1 知多市	236.94百万円/人
2 碧南市	49.86%	2 田原市	2,717,042百万円	2 田原市	179.41百万円/人
3 豊田市	48.63%	3 安城市	1,822,102百万円	3 幸田町	121.22百万円/人
4 刈谷市	47.57%	4 岡崎市	1,818,507百万円	4 豊田市	120.92百万円/人
5 西尾市	46.62%	5 刈谷市	1,767,939百万円	5 東海市	93.18百万円/人
6 幸田町	45.64%	6 幸田町	1,596,509百万円	6 武豊町	67.08百万円/人
7 知立市	45.59%	7 東海市	1,481,220百万円	7 飛島村	64.70百万円/人
8 幡豆町	45.45%	8 豊橋市	1,421,157百万円	8 碧南市	56.87百万円/人
9 安城市	44.07%	9 西尾市	1,404,547百万円	9 三好町	53.85百万円/人
10 大府市	43.10%	10 小牧市	1,383,400百万円	10 半田市	51.85百万円/人
11 東浦町	43.06%	11 豊川市	1,198,060百万円	11 稲沢市	49.52百万円/人
12 小坂井町	42.76%	12 大府市	987,124百万円	12 美浜町	49.51百万円/人
13 武豊町	42.69%	13 知多市	987,106百万円	13 清須市	48.44百万円/人
14 大口町	42.65%	14 碧南市	969,142百万円	14 西尾市	47.62百万円/人
15 三好町	42.62%	15 稲沢市	960,280百万円	15 新城市	46.91百万円/人
16 東海市	40.63%	16 三好町	938,657百万円	16 岡崎市	46.71百万円/人
17 岡崎市	40.57%	17 半田市	785,278百万円	17 大府市	45.55百万円/人
18 吉良町	39.95%	18 春日井市	775,337百万円	18 豊川市	45.49百万円/人
19 蒲郡市	39.90%	19 一宮市	582,698百万円	19 高浜市	45.44百万円/人
20 豊明市	39.79%	20 高浜市	492,342百万円	20 安城市	42.92百万円/人
21 一色町	39.52%	21 犬山市	485,157百万円	21 尾張旭市	42.09百万円/人
22 新城市	38.92%	22 大口町	460,588百万円	22 豊橋市	39.41百万円/人
23 小牧市	38.60%	23 武豊町	416,460百万円	23 犬山市	36.68百万円/人
24 豊川市	38.27%	24 瀬戸市	385,348百万円	24 小牧市	36.06百万円/人
25 半田市	38.26%	25 新城市	333,862百万円	25 刈谷市	34.33百万円/人
26 犬山市	37.98%	26 清須市	331,364百万円	26 大口町	34.26百万円/人
27 東郷町	37.46%	27 尾張旭市	268,397百万円	27 弥富市	33.92百万円/人
28 阿久比町	37.38%	28 蒲郡市	240,382百万円	28 東浦町	33.56百万円/人
29 美和町	36.84%	29 北名古屋市	221,479百万円	29 大治町	33.50百万円/人
30 扶桑町	36.81%	30 東浦町	215,712百万円	30 東郷町	32.89百万円/人
31 知多市	36.67%	31 飛島村	214,818百万円	31 豊山町	32.86百万円/人
32 甚目寺町	36.65%	32 江南市	182,079百万円	32 阿久比町	32.86百万円/人
33 瀬戸市	36.46%	33 常滑市	182,006百万円	33 北名古屋市	32.13百万円/人
34 七宝町	36.17%	34 弥富市	180,538百万円	34 吉良町	31.31百万円/人
35 大治町	35.99%	35 豊明市	165,055百万円	35 春日井市	29.32百万円/人
36 江南市	35.84%	36 知立市	153,724百万円	36 常滑市	28.89百万円/人
37 豊橋市	35.11%	37 東郷町	145,260百万円	37 岩倉市	28.57百万円/人
38 春日町	34.53%	38 吉良町	121,115百万円	38 江南市	28.13百万円/人
39 常滑市	34.52%	39 日進市	117,673百万円	39 瀬戸市	27.76百万円/人
40 豊山町	34.07%	40 愛西市	97,377百万円	40 小坂井町	26.90百万円/人
41 一宮市	33.80%	41 豊山町	93,377百万円	41 豊明市	26.12百万円/人
42 北名古屋市	33.53%	42 津島市	86,323百万円	42 日進市	25.02百万円/人
43 清須市	32.73%	43 小坂井町	82,313百万円	43 蒲郡市	24.64百万円/人
44 津島市	32.66%	44 大治町	79,831百万円	44 美和町	24.20百万円/人
45 東栄町	32.60%	45 甚目寺町	74,315百万円	45 蟹江町	24.09百万円/人
46 稲沢市	32.10%	46 阿久比町	68,836百万円	46 幡豆町	23.71百万円/人
47 愛西市	31.95%	47 蟹江町	64,360百万円	47 一宮市	23.51百万円/人
48 春日井市	31.76%	48 岩倉市	59,627百万円	48 知立市	23.39百万円/人
49 岩倉市	31.69%	49 美浜町	52,782百万円	49 甚目寺町	22.71百万円/人
50 美浜町	31.30%	50 美和町	52,311百万円	50 春日町	21.59百万円/人
51 弥富市	30.19%	51 扶桑町	44,604百万円	51 扶桑町	21.24百万円/人
52 蟹江町	30.05%	52 春日町	40,311百万円	52 愛西市	20.94百万円/人
53 田原市	28.95%	53 一色町	35,109百万円	53 津島市	20.58百万円/人
54 飛島村	28.84%	54 幡豆町	34,518百万円	54 一色町	20.58百万円/人
55 尾張旭市	28.22%	55 南知多町	23,510百万円	55 設楽町	17.55百万円/人
56 豊根村	27.83%	56 長久手町	22,773百万円	56 南知多町	16.48百万円/人
57 日進市	26.84%	57 七宝町	22,337百万円	57 七宝町	14.57百万円/人
58 南知多町	24.72%	58 設楽町	6,125百万円	58 長久手町	12.74百万円/人
59 設楽町	24.65%	59 東栄町	2,336百万円	59 東栄町	9.94百万円/人
60 長久手町	19.34%	60 豊根村	226百万円	60 豊根村	7.53百万円/人
市部	38.43%	市部	38,286,455百万円	市部	58.55百万円/人
町村部	36.89%	町村部	4,909,094百万円	町村部	48.93百万円/人
尾張都計	34.27%	尾張都計	4,933,771百万円	尾張都計	33.72百万円/人
愛知県	34.35%	愛知県	47,482,703百万円	愛知県	54.18百万円/人

(資料：平成17年国勢調査、平成19年工業統計調査)

(3) 商業

商業関連としては、尾張都市計画区域の人口1人あたり年間販売額が低く、百万円を売り上げるための売場面積の面積が大きい状況となっている。そのような中、本町の小売業年間販売額は、31,745百万円と愛知県下で41番目であるが、人口1人あたり年間販売額は、1.47百万円/人と愛知県下(1.14百万円/人)で3番目に高い状況にある。また、百万円あたり売場面積は、1.31㎡/百万円と愛知県(1.02㎡/百万円)や尾張都市計画区域(1.20㎡/百万円)より大きくなっている。

表 本町並びに愛知県下の都市の商業状況

都市名	小売業年間販売額	都市名	人口1人あたり年間販売額	都市名	年間販売額百万円あたり売場面積
1 豊橋市	418,084 百万円	1 飛島村	2.43 百万円/人	1 飛島村	0.33 ㎡/百万円
2 岡崎市	404,992 百万円	2 阿久比町	1.50 百万円/人	2 春日町	0.46 ㎡/百万円
3 豊田市	396,274 百万円	3 大口町	1.47 百万円/人	3 小坂井町	0.49 ㎡/百万円
4 一宮市	372,830 百万円	4 長久手町	1.41 百万円/人	4 豊山町	0.82 ㎡/百万円
5 春日井市	306,524 百万円	5 豊山町	1.40 百万円/人	5 日進市	0.89 ㎡/百万円
6 安城市	206,029 百万円	6 半田市	1.33 百万円/人	6 大治町	0.89 ㎡/百万円
7 豊川市	185,956 百万円	7 東浦町	1.26 百万円/人	7 大府市	0.90 ㎡/百万円
8 小牧市	184,624 百万円	8 小牧市	1.25 百万円/人	8 七宝町	0.91 ㎡/百万円
9 刈谷市	161,600 百万円	9 扶桑町	1.25 百万円/人	9 豊田市	0.93 ㎡/百万円
10 半田市	154,357 百万円	10 蟹江町	1.24 百万円/人	10 東海市	0.93 ㎡/百万円
11 稲沢市	122,999 百万円	11 津島市	1.22 百万円/人	11 蟹江町	0.93 ㎡/百万円
12 西尾市	112,064 百万円	12 安城市	1.21 百万円/人	12 北名古屋	0.94 ㎡/百万円
13 東海市	109,410 百万円	13 豊川市	1.17 百万円/人	13 刈谷市	0.96 ㎡/百万円
14 瀬戸市	104,001 百万円	14 刈谷市	1.14 百万円/人	14 東郷町	0.97 ㎡/百万円
15 江南市	87,525 百万円	15 豊橋市	1.12 百万円/人	15 豊明市	0.98 ㎡/百万円
16 蒲郡市	85,142 百万円	16 弥富市	1.12 百万円/人	16 碧南市	1.01 ㎡/百万円
17 日進市	84,016 百万円	17 岡崎市	1.11 百万円/人	17 知多市	1.01 ㎡/百万円
18 大府市	82,836 百万円	18 西尾市	1.07 百万円/人	18 田原市	1.04 ㎡/百万円
19 津島市	79,907 百万円	19 日進市	1.07 百万円/人	19 武豊町	1.05 ㎡/百万円
20 尾張旭市	78,781 百万円	20 三好町	1.07 百万円/人	20 尾張旭市	1.06 ㎡/百万円
21 北名古屋	77,229 百万円	21 知立市	1.06 百万円/人	21 高浜市	1.06 ㎡/百万円
22 田原市	70,110 百万円	22 田原市	1.06 百万円/人	22 甚目寺町	1.06 ㎡/百万円
23 知立市	70,001 百万円	23 東海市	1.05 百万円/人	23 豊橋市	1.08 ㎡/百万円
24 碧南市	67,932 百万円	24 春日井市	1.04 百万円/人	24 春日井市	1.08 ㎡/百万円
25 長久手町	65,401 百万円	25 蒲郡市	1.04 百万円/人	25 長久手町	1.09 ㎡/百万円
26 東浦町	60,762 百万円	26 大府市	1.03 百万円/人	26 岡崎市	1.11 ㎡/百万円
27 三好町	60,453 百万円	27 一宮市	1.00 百万円/人	27 一宮市	1.11 ㎡/百万円
28 知多市	55,334 百万円	28 尾張旭市	1.00 百万円/人	28 津島市	1.11 ㎡/百万円
29 豊明市	52,835 百万円	29 春日町	1.00 百万円/人	29 豊川市	1.12 ㎡/百万円
30 犬山市	47,904 百万円	30 北名古屋	0.99 百万円/人	30 安城市	1.12 ㎡/百万円
31 弥富市	47,722 百万円	31 豊田市	0.96 百万円/人	31 半田市	1.15 ㎡/百万円
32 新城市	46,057 百万円	32 碧南市	0.95 百万円/人	32 吉良町	1.16 ㎡/百万円
33 蟹江町	45,705 百万円	33 高浜市	0.94 百万円/人	33 西尾市	1.17 ㎡/百万円
34 清須市	44,186 百万円	34 吉良町	0.92 百万円/人	34 愛西市	1.17 ㎡/百万円
35 常滑市	41,453 百万円	35 稲沢市	0.90 百万円/人	35 清須市	1.17 ㎡/百万円
36 扶桑町	40,782 百万円	36 江南市	0.88 百万円/人	36 東浦町	1.17 ㎡/百万円
37 高浜市	38,997 百万円	37 新城市	0.88 百万円/人	37 三好町	1.18 ㎡/百万円
38 愛西市	38,770 百万円	38 常滑市	0.81 百万円/人	38 阿久比町	1.20 ㎡/百万円
39 阿久比町	36,861 百万円	39 清須市	0.80 百万円/人	39 小牧市	1.21 ㎡/百万円
40 岩倉市	36,122 百万円	40 幸田町	0.80 百万円/人	40 美和町	1.21 ㎡/百万円
41 大口町	31,745 百万円	41 瀬戸市	0.79 百万円/人	41 知立市	1.22 ㎡/百万円
42 武豊町	30,283 百万円	42 豊明市	0.77 百万円/人	42 新城市	1.23 ㎡/百万円
43 東郷町	29,599 百万円	43 岩倉市	0.75 百万円/人	43 弥富市	1.23 ㎡/百万円
44 幸田町	28,582 百万円	44 東郷町	0.75 百万円/人	44 常滑市	1.24 ㎡/百万円
45 甚目寺町	25,545 百万円	45 大治町	0.75 百万円/人	45 犬山市	1.26 ㎡/百万円
46 大治町	21,413 百万円	46 武豊町	0.74 百万円/人	46 美浜町	1.26 ㎡/百万円
47 吉良町	20,369 百万円	47 知多市	0.66 百万円/人	47 幡豆町	1.29 ㎡/百万円
48 豊山町	18,970 百万円	48 甚目寺町	0.66 百万円/人	48 幸田町	1.29 ㎡/百万円
49 美浜町	17,305 百万円	49 美浜町	0.66 百万円/人	49 瀬戸市	1.30 ㎡/百万円
50 一色町	14,974 百万円	50 犬山市	0.64 百万円/人	50 大口町	1.31 ㎡/百万円
51 南知多町	13,015 百万円	51 一色町	0.62 百万円/人	51 稲沢市	1.34 ㎡/百万円
52 小坂井町	12,261 百万円	52 愛西市	0.59 百万円/人	52 岩倉市	1.35 ㎡/百万円
53 飛島村	10,618 百万円	53 南知多町	0.59 百万円/人	53 蒲郡市	1.37 ㎡/百万円
54 七宝町	10,605 百万円	54 幡豆町	0.55 百万円/人	54 南知多町	1.38 ㎡/百万円
55 美和町	10,089 百万円	55 設楽町	0.50 百万円/人	55 江南市	1.48 ㎡/百万円
56 春日町	8,355 百万円	56 七宝町	0.46 百万円/人	56 扶桑町	1.51 ㎡/百万円
57 幡豆町	6,986 百万円	57 小坂井町	0.44 百万円/人	57 一色町	1.63 ㎡/百万円
58 設楽町	3,134 百万円	58 美和町	0.42 百万円/人	58 設楽町	1.68 ㎡/百万円
59 東栄町	-	59 東栄町	-	59 東栄町	-
60 豊根村	-	60 豊根村	-	60 豊根村	-
市部	4,472,601 百万円	市部	1.02 百万円/人	市部	1.10 ㎡/百万円
町部	623,811 百万円	町村部	0.94 百万円/人	町村部	1.13 ㎡/百万円
尾張都計	1,231,055 百万円	尾張都計	1.00 百万円/人	尾張都計	1.20 ㎡/百万円
愛知県	8,463,108 百万円	愛知県	1.14 百万円/人	愛知県	1.02 ㎡/百万円

(資料：平成17年国勢調査、平成19年商業統計調査)

### 3. 都市施設関連

#### (1) 都市計画道路

都市計画道路としては、愛知県が59.75%、尾張都市計画区域の整備率が64.71%となっており、本町では67.80%で、尾張都市計画区域の平均より高く、愛知県下で16番目となっている。

表 本町並びに愛知県下の都市の都市計画道路の状況(資料:平成18年都市計画基礎調査)

	都市名	整備率		都市名	整備率		都市名	整備率		都市名	整備率
1	豊山町	94.34%	17	知立市	66.71%	33	阿久比町	54.45%	49	東浦町	33.01%
2	長久手町	80.14%	18	知多市	64.96%	34	飛島村	54.21%	50	美和町	32.97%
3	刈谷市	79.63%	19	江南市	64.82%	35	日進市	53.99%	51	甚目寺町	32.93%
4	高浜市	79.25%	20	東海市	64.16%	36	犬山市	53.37%	52	小坂井町	32.02%
5	北名古屋市	76.54%	21	一宮市	62.89%	37	常滑市	52.44%	53	愛西市	31.53%
6	豊明市	76.50%	22	幸田町	62.71%	38	稲沢市	51.14%	54	七宝町	30.08%
7	春日井市	76.47%	23	尾張旭市	62.45%	39	半田市	50.79%	55	田原市	28.72%
8	碧南市	74.56%	24	一色町	61.76%	40	蟹江町	50.30%	56	南知多町	16.83%
9	小牧市	72.68%	25	津島市	60.28%	41	瀬戸市	50.24%	57	美浜町	10.93%
10	安城市	72.12%	26	東郷町	60.09%	42	武豊町	45.91%	58	設楽町	0.00%
11	岡崎市	71.51%	27	三好町	59.50%	43	豊川市	43.65%	59	東栄町	0.00%
12	西尾市	70.75%	28	蒲郡市	59.04%	44	幡豆町	41.27%	60	豊根村	0.00%
13	扶桑町	70.75%	29	豊田市	58.70%	45	弥富市	41.18%		市部	61.99%
14	清須市	69.54%	30	豊橋市	58.14%	46	大治町	40.50%		町村部	48.48%
15	春日町	68.42%	31	大府市	56.99%	47	新城市	38.70%		尾張都計	64.71%
16	大口町	67.80%	32	岩倉市	55.08%	48	吉良町	37.61%		愛知県	59.75%

#### (2) 都市計画公園

人口1人あたり都市計画公園面積としては、愛知県の7.2㎡/人、尾張都市計画区域の6.1㎡/人を大きく下回った1.1㎡/人、愛知県下で49番目となっている。

表 本町並びに愛知県下の都市の都市計画公園の状況(資料:公園面積(H20愛知県))

	都市名	1人あたり公園面積		都市名	1人あたり公園面積		都市名	1人あたり公園面積		都市名	1人あたり公園面積
1	長久手町	25.4㎡/人	17	小牧市	7.4㎡/人	33	稲沢市	4.0㎡/人	49	大口町	1.1㎡/人
2	新城市	14.1㎡/人	18	東浦町	6.7㎡/人	34	美浜町	3.8㎡/人	50	岩倉市	1.0㎡/人
3	豊川市	13.2㎡/人	19	半田市	5.8㎡/人	35	蟹江町	3.8㎡/人	51	小坂井町	0.8㎡/人
4	三好町	11.6㎡/人	20	田原市	5.3㎡/人	36	江南市	3.5㎡/人	52	春日町	0.7㎡/人
5	幸田町	11.2㎡/人	21	日進市	5.3㎡/人	37	清須市	3.2㎡/人	53	美和町	0.5㎡/人
6	豊田市	10.5㎡/人	22	西尾市	5.2㎡/人	38	豊山町	3.1㎡/人	54	北名古屋市	0.4㎡/人
7	春日井市	10.4㎡/人	23	東郷町	5.1㎡/人	39	弥富市	2.7㎡/人	55	幡豆町	0.2㎡/人
8	岡崎市	10.0㎡/人	24	碧南市	5.0㎡/人	40	阿久比町	2.6㎡/人	56	七宝町	0.0㎡/人
9	豊橋市	9.8㎡/人	25	犬山市	4.9㎡/人	41	吉良町	2.6㎡/人	57	大治町	0.0㎡/人
10	常滑市	9.6㎡/人	26	飛島村	4.8㎡/人	42	武豊町	2.5㎡/人	58	設楽町	0.0㎡/人
11	東海市	9.2㎡/人	27	安城市	4.8㎡/人	43	高浜市	2.5㎡/人	59	東栄町	0.0㎡/人
12	大府市	9.0㎡/人	28	一宮市	4.7㎡/人	44	一色町	2.5㎡/人	60	豊根村	0.0㎡/人
13	刈谷市	8.5㎡/人	29	津島市	4.4㎡/人	45	知立市	2.4㎡/人		市部	7.4㎡/人
14	尾張旭市	8.5㎡/人	30	豊明市	4.3㎡/人	46	蒲郡市	2.4㎡/人		町村部	5.7㎡/人
15	知多市	8.5㎡/人	31	愛西市	4.1㎡/人	47	南知多町	1.7㎡/人		尾張都計	6.1㎡/人
16	瀬戸市	8.2㎡/人	32	扶桑町	4.0㎡/人	48	甚目寺町	1.3㎡/人		愛知県	7.2㎡/人

(3) 下水道

下水道としては、下水道普及率は愛知県の56.3%、尾張都市計画区域の51.3%で、尾張都市計画区域、愛知県より高い、70.5%(愛知県下で13番目)となっている。

※なお、「あいちの下水道」において下水道普及率は、処理人口(供用開始告示済区域内人口)÷行政人口(住民基本台帳)で算出されています。

汚水処理人口普及率は、愛知県の75.1%より若干高い、85.1%(愛知県下で15番目)となっている。

※なお、「あいちの下水道」において汚水処理人口普及率は、汚水処理施設の処理人口(下水道のみ)÷行政人口(住民基本台帳)で算出されています。

表 本町並びに愛知県下の都市の下水道の状況(資料:あいちの下水道(平成20年末))

	都市名	下水道普及率		都市名	下水道普及率		都市名	下水道普及率		都市名	下水道普及率
1	知多市	90.5%	17	春日井市	65.2%	33	幡豆町	49.5%	47	弥富市	0.0%
2	小坂井町	84.4%	18	小牧市	65.1%	34	日進市	48.3%	47	春日町	0.0%
3	岡崎市	82.3%	19	東浦町	63.7%	35	吉良町	48.1%	47	七宝町	0.0%
4	刈谷市	82.2%	20	豊田市	63.4%	36	高浜市	45.6%	47	美和町	0.0%
5	長久手町	81.2%	21	東海市	63.2%	37	田原市	43.5%	47	甚目寺町	0.0%
6	半田市	78.1%	22	東郷町	63.1%	38	一色町	42.4%	47	大治町	0.0%
7	三好町	75.0%	23	尾張旭市	58.2%	39	豊山町	37.2%	47	蟹江町	0.0%
8	豊橋市	73.7%	24	蒲都市	57.4%	40	常滑市	36.7%	47	飛島村	0.0%
9	豊明市	73.3%	25	犬山市	55.4%	41	稲沢市	33.1%	47	南知多町	0.0%
10	武豊町	72.4%	26	碧南市	54.4%	42	新城市	28.3%	47	美浜町	0.0%
11	大府市	72.3%	27	岩倉市	53.5%	43	扶桑町	25.2%	47	設楽町	0.0%
12	阿久比町	71.2%	28	西尾市	51.3%	44	江南市	20.3%	47	豊根村	0.0%
13	大口町	70.5%	29	知立市	50.4%	45	北名古屋市	20.1%		市部	58.3%
14	豊川市	69.0%	30	瀬戸市	50.3%	46	津島市	20.0%		町村部	46.9%
15	幸田町	67.6%	31	一宮市	49.9%	47	愛西市	0.0%		尾張都計	51.3%
16	安城市	66.6%	32	東栄町	49.9%	47	清須市	0.0%		愛知県	56.3%

※愛知県の普及率は名古屋市を除く

	都市名	汚水処理人口普及率		都市名	汚水処理人口普及率		都市名	汚水処理人口普及率		都市名	汚水処理人口普及率
1	三好町	99.7%	17	豊川市	82.2%	33	吉良町	69.6%	47	江南市	53.3%
2	幸田町	99.3%	18	武豊町	82.1%	34	東海市	68.2%	47	豊根村	50.3%
3	長久手町	97.1%	19	幡豆町	81.4%	35	蟹江町	67.4%	47	北名古屋市	47.7%
4	飛島村	96.8%	20	阿久比町	79.7%	36	岩倉市	65.5%	47	甚目寺町	44.6%
5	知多市	96.4%	21	豊田市	79.4%	37	一宮市	64.7%	47	清須市	44.3%
6	小坂井町	94.5%	22	尾張旭市	77.9%	38	瀬戸市	64.6%	47	扶桑町	43.2%
7	刈谷市	91.6%	23	日進市	75.8%	39	設楽町	64.5%	47	大治町	37.2%
8	岡崎市	91.6%	24	東栄町	75.1%	40	蒲都市	64.4%	47	美浜町	36.7%
9	大府市	90.6%	25	小牧市	75.0%	41	常滑市	63.6%	47	春日町	35.0%
10	田原市	88.1%	26	碧南市	74.5%	42	稲沢市	62.7%	47	七宝町	28.1%
11	豊橋市	88.1%	27	知立市	74.1%	43	愛西市	61.7%	47	美和町	24.4%
12	春日井市	86.6%	28	安城市	73.5%	44	高浜市	60.3%	47	南知多町	24.0%
13	豊明市	85.9%	29	東浦町	73.4%	45	弥富市	58.8%		市部	
14	半田市	85.1%	30	西尾市	72.4%	46	津島市	58.1%		町村部	
15	大口町	85.1%	31	犬山市	72.2%	47	一色町	57.1%		尾張都計	
16	東郷町	83.1%	32	豊山町	71.2%	47	新城市	54.4%		愛知県	75.1%

※愛知県の人口普及率は名古屋市を除く

**2-2 上位・関連計画の整理**

**1. 中部圏**

(1) 中部圏広域地方計画

策定年次	平成 21 年	目標年次	平成 32 年
<p><b>中部圏の将来像～日本のまんなかから世界のまんなかへ～</b></p> <p>①中部圏における地域構造 ～日本のロータリーとしての展開～ 4つの国土軸と6つの地域軸などにより、国内外との交流、連携が全域で展開されることとなり、中部圏に流入する情報、文化等は、中部圏の持つ豊かな文化力、経済力等から生まれる魅力、特性により、新たな価値を付加、醸成され再配信される、「日本のロータリー」として、中部圏は新たな価値を生み出す、個性と魅力ある圏域を形成していく。</p> <p>②目指すべき中部圏の将来像 □賑わいあふれる国際交流圏、多文化共生圏 □世界をリードする産業、技術のイノベーション圏 □人々が生き生きと、安心して暮らせることができる持続可能な環境先進圏</p> <p>③中部圏のリーディングプロジェクト(都市計画や本町に該当する事項のみ) □ものづくり産業の競争力強化プロジェクト →ものづくり産業の人材の育成、確保、既存の産業集積、連携の深化、拡大の推進、利便性の高い物流拠点の形成、産業用地、交通網等の基盤の拡充、強化 □次世代産業イノベーションプロジェクト →産学官連携体制の強化、ネットワークの形成、中小企業、ベンチャー企業の活性化 □低炭素社会実現プロジェクト →環境負荷の少ない交通体系、基盤等の構築、低炭素型まちづくりの推進 □いきもの共生プロジェクト □国際ゲートウェイ中部プロジェクト □まんなか巡り観光交流プロジェクト □高次都市機能、連携強化プロジェクト □農山漁村の活性化プロジェクト □多文化共生先進圏づくりプロジェクト □暮らしの安心、快適プロジェクト □文化継承、創造プロジェクト □災害克服プロジェクト →大規模地震発生時の連鎖的、複合的被害を最小限に抑えるための住宅等の建物の耐震化推進 □三遠南信流域都市圏活力向上プロジェクト □伊勢湾再生プロジェクト →汚濁負荷の削減、森林、農用地等の保全・整備、水質浄化機能の保全・再生、創出等の推進</p>			



## 2. 愛知県

## (1) 尾張都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

策定年次	平成 22 年	目標年次	平成 32 年
<b>都市づくりの基本理念</b>			
～豊かな水と緑の中で、			
<b>広域交通体系をいかして産業が力強く発展する都市づくり～</b>			
□尾張広域都市計画圏の人口			
	平成 17 年	平成 32 年	
尾張広域都市計画圏	4,962 千人	約 5,113 千人	
市街化区域内	4,216 千人	約 4,366 千人	
□尾張広域都市計画圏の産業			
	平成 17 年	平成 32 年	
製造品出荷額	約 14.5 兆円	約 18 兆円	
小売業商品販売額	約 5.9 兆円	約 5.7 兆円	
第 1 次産業	約 38 千人 (2%)	約 33 千人 (1%)	
第 2 次産業	約 759 千人 (31%)	約 714 千人 (29%)	
第 3 次産業	約 1,648 千人 (67%)	約 1,768 千人 (70%)	
□尾張広域都市計画圏及び都市計画区域の市街化区域面積			
		平成 32 年	
市街化区域面積	尾張広域都市計画圏	74,107ha	
	尾張都市計画区域	15,274ha	
※市街化区域面積には、保留フレームによる面積を含まない。			
○土地利用の基本方針等			
□市街化区域：都市的土地利用の割合が著しく低い土地の活用、既成市街地の再構築を優先しながら都市機能の適切な配置を促進し、計画的に市街化を誘導			
□住居系市街地：日常生活に必要な施設を身近に配置することにより、自家用車に過度に依存しない身近な生活圏に再構築していく。また、適切な土地利用へ誘導し居住環境の保護を図る。			
□商業系市街地：鉄道駅周辺など拠点性を有する地区に多様な都市機能の集積を高める。			
□工業系市街地：産業の動向に的確に対応し、周辺環境との調和や社会基盤の整備水準などを考え合わせて適切な位置に配置する。			
□市街化調整区域：将来の人口減少、超高齢社会の到来を見据え、市街化区域内の整備と再構築を優先すべきであり、同区域での開発は抑制する。			
○主要な施設の整備目標(本町に関連する事項のみ)			
□道路、街路事業	北尾張中央道(一般国道 155 号)		
□公共下水道事業	大口公共下水道		
□河川改修事業	一級河川 合瀬川、五条川、青木川放水路		

3. 大口町

(1) 第6次大口町総合計画

策定年次	平成 18 年	目標年次	平成 27 年
<b>まちの将来像</b>			
～輝く水と緑 元気な暮らし広がる自治のまち おおぐち～			
□将来人口			
	平成 17 年	平成 27 年	
人口	21,602 人	23,000 人	
年少人口 (0-14 歳)	3,624 人 (16.8%)	3,300 人 (14.3%)	
生産年齢人口 (15-64 歳)	14,351 人 (66.4%)	13,900 人 (60.7%)	
老年人口 (65 歳以上)	3,619 人 (16.8%)	5,800 人 (25.1%)	
第 1 次産業	336 人 ( 3.1%)	300 人 ( 2.5%)	
第 2 次産業	4,708 人 (43.1%)	5,200 人 (42.6%)	
第 3 次産業	5,871 人 (53.8%)	6,700 人 (54.9%)	
<b>○基本理念</b>			
□安全：住民の命と生活を守るために、「安全」をまちづくりの尺度として、防災、防犯、交通安全などの分野はもとより、様々な施策、事業や住民主体の取り組みを「安全」という視点から推進する。			
□協働：地域住民やNPO、ボランティア、企業、行政などが、それぞれの個性や能力に応じて役割を分担し、協力し合って「新しい公共」を創造していく必要がある、そのためには様々な活動主体がともに取り組む「協働」が不可欠であり、様々な施策、事業や住民主体の取り組みを「協働」という視点から推進する。			
□共生：人と環境、人と人のより良い関係づくりをめざして、「共生」という考え方をまちづくりの尺度とし、様々な施策、事業や住民主体の取り組みを「共生」という視点から推進する。			
□公平：多様なサービスの自由な選択と努力のチャンスが得られる新たな社会システムの構築、そして、世代間の不公平のない社会づくりをめざして、「公平」をまちづくりの尺度とし、様々な施策、事業や住民主体の取り組みを「公平」という視点から推進する。			
□発展：持続可能な発展や真の豊かさを求めた地域づくり、住民一人ひとりが「役立ち感」を実感しながら元気に活躍ができ、人間性を高めていける地域社会の構築をめざし、また、たゆみなく変革、改善し続ける行政経営をめざして、経済成長に傾倒した従来の発展概念と異なった「発展」をまちづくりの尺度とし、様々な施策、事業や住民主体の取り組みを「発展」という視点から推進する。			

(2) 大口町都市計画マスタープラン

策定年次	平成 7 年	目標年次	平成 22 年
<b>まちづくりのキーワード</b>			
～自然と風土と土地柄をみんなで生かすまちづくり～			
□町の将来像			
①展望のある生き生きとした“まち”			
②安全で快適な“まち”			
③人間性豊かな“まち”			
④生きがいのある暮らしやすい“まち”			
⑤安定した生活のできる“まち”			
⑥ふれあいのある、わたしたちの“まち”			
<b>都市づくりのテーマ</b>			
～人、物、自然が調和した、快適で魅力あるまちづくり～			
□施策目標			
① 21 世紀に向けたまちづくり			
②産業の振興を図るまちづくり			
③快適に暮らせるまちづくり			
④自然と歴史、文化を生かすまちづくり			
⑤町民の参加によるまちづくり			
<b>計画フレーム</b>			
□将来人口			
	平成 2 年	平成 12 年	平成 22 年
人口	17,464 人	20,600 人	23,800 人
□産業別従業者			
	平成 2 年	平成 12 年	平成 22 年
第 1 次産業	641 人 ( 3.5%)	300 人 ( 1.5%)	200 人 ( 0.6%)
第 2 次産業	13,733 人 (74.8%)	17,500 人 (72.9%)	20,700 人 (69.8%)
第 3 次産業	3,992 人 (21.7%)	6,200 人 (25.6%)	8,800 人 (29.6%)
□産業フレーム			
	現 状	平成 12 年	平成 22 年
製造品出荷額	409,153 百万円	692,200 百万円	1,024,000 百万円
年間商品販売額	186,522 百万円	387,600 百万円	613,900 百万円
□市街化区域の規模			
	平成 2 年	平成 22 年	
住宅地面積	98ha	197ha	
工業地面積	72ha	141ha	
商業地面積	5ha	19ha	
合 計	175ha	357ha	

(3) 大口町道路網整備計画

策定年次	平成 11 年	目標年次	平成 27 年
<p>調査の目的—将来広域交通体系、土地利用計画、まちづくり計画、交通需要等との整合のとれた道路網のあり方を明らかにするとともに、その整備計画を作成することを目的とする。</p> <p>大口町の幹線道路の段階構成</p>			
段階構成	適用道路	機能	
主要幹線道路	国道 4 1 号	愛知県における名古屋市からの放射軸であり、広域的な交通を大量に処理する。	
	(都)北尾張中央道	愛知県における環状道路の一部を担い、広域的な交通を大量に処理する。	
都市幹線道路	(都)大口楽田線	内外交通と通過交通を大量に処理する東西軸であり、新市街地形成の主軸となる。	
	(都)江南大口線	内外交通を処理し、都市の骨格を形成する北部の東西軸。	
	(都)江南池之内線	内外交通を処理し、都市の骨格を形成する南部の東西軸。	
	(都)愛岐南北線	通過交通及び内外交通を処理し、都市の骨格を形成する西部の南北軸。	
	(都)豊田岩倉線	通過交通及び内外交通を処理し、都市の骨格を形成する西部の南北軸。	
	新規路線	内外交通を処理し、都市の骨格を形成し、(都)愛岐南北線を補完する。	
	(都)愛岐大橋線	内外交通を処理し、地区の外郭を形成。	
	(都)斎藤羽黒線 (R41 以西)	内外交通を処理し、地区の外郭を形成。	
	(都)犬山富士線	犬山市及び扶桑町からの通過交通対応路線。	
地区幹線道路	(都)柏森大口線 + 延伸路線 (新規路線)	柏森駅、役場等の公共公益施設を連絡するとともに、中心的な市街地を形成する上の骨格軸としての役割を担う。	
	(都)斎藤羽黒線 (R41 以東)	国道 41 号と北部工業系市街地を連絡するとともに犬山市方向を連絡する路線	
補助幹線道路		主要、都市、地区幹線道路といった上位路線へ交通を誘導する集散機能路線として、上記路線で外郭を形成される区域ごとに適宜配置	
<p>本計画で早期整備が望まれる路線</p> <p>□(都)斎藤羽黒線、小口線、江南大口線、大口楽田線、愛岐南北線</p>			

(4) 大口町緑の基本計画

策定年次	平成 7 年	目標年次	平成 22 年
<p><b>緑の将来像のテーマ</b>  <b>～ひと、せせらぎ、緑はぐくむふれあいのまち～</b></p> <p>□緑の将来像</p> <p>○緑の拠点：(仮称)大口町総合公園(健康文化センターを含む)</p> <p>○緑のコア：①創出型コア(仮称)大口中央公園、新宮近隣公園、河北近隣公園、秋田近隣公園</p> <p>②再生型コア(仮称)堀尾跡公園、桜塚古墳公園、小口城址公園</p> <p>③保全型コア(仮称)白山ふれあいの森</p> <p>○緑の軸：①自然景観軸(五条川(尾北自然歩道)、合瀬川、巾下川、木津用水、新木津用水)</p> <p>②都市景観軸(尾張広域緑道、(都)柏森大口線、大口楽田線、江南大口線、北尾張中央道、町道高岡線)</p> <p>③生活景観軸(仮称)北部小口緑道、矢戸川緑道</p>			

(5) 新川流域水害対策計画、大口町流域水害対策計画

策定年次	平成 19 年	対象期間	概ね 30 年
<p><b>新川流域水害対策計画</b></p> <p>平成 12 年 9 月の東海豪雨により甚大な浸水被害を受けた新川は、河川激甚災害対策特別緊急事業の採択を受け再度災害防止を目的とする河川改修事業が平成 17 年度に完了し、新川の五条川合流後における計画高水流量を 1,090m<sup>3</sup>/s 確保した。</p> <p>しかしながら、新川流域では、新川以外が整備途上の状況にあることや流出抑制施設の法的な位置づけが明確でなかったこともあり、新たな浸水被害防止への取り組みが必要となってきたため、平成 18 年 1 月 1 日に特定都市河川及び特定都市河川流域の指定を施行し、流域において連携を強化し、効率的な浸水被害対策を実施することとなった。</p> <p><b>特定都市河川等の整備に関する事項(本町に関連する事項のみ)</b></p> <p>□河道改修(合瀬川)：小牧市岩崎原新田地内～木津用水合流点</p> <p>□洪水調節施設整備(青木川放水路、五条川・矢戸川・巾下川の沿川、巾下川の沿川)</p> <p><b>特定都市下水道の整備に関する事項(本町に関連する事項のみ)</b></p> <p>□特定都市下水道の整備：町西部の市街化区域(概ね 30 年間で整備予定)－213ha</p>			

大口町流域水害対策計画	
<p>大口町流域水害対策計画は、「特定都市河川浸水被害対策法」に関する事項を検討し、「新川流域整備計画」との整合を図り、本町全域を対象とした雨水全体計画を作成。目標年次は、平成 47 年まで。</p>	
<p>□余野調整池 1,000 m<sup>3</sup> の新設</p>	
<p>□浸水危険度の高い地域における約 5,000 m<sup>3</sup> の流出抑制</p>	
①排水区：五条川第 3 ー大口中学校	600 m <sup>3</sup> 以上
②排水区：矢戸川第 6 他ー南部多目的広場	1,600 m <sup>3</sup> 以上
③排水区：その他 ー大口南小学校	2,800 m <sup>3</sup> 以上

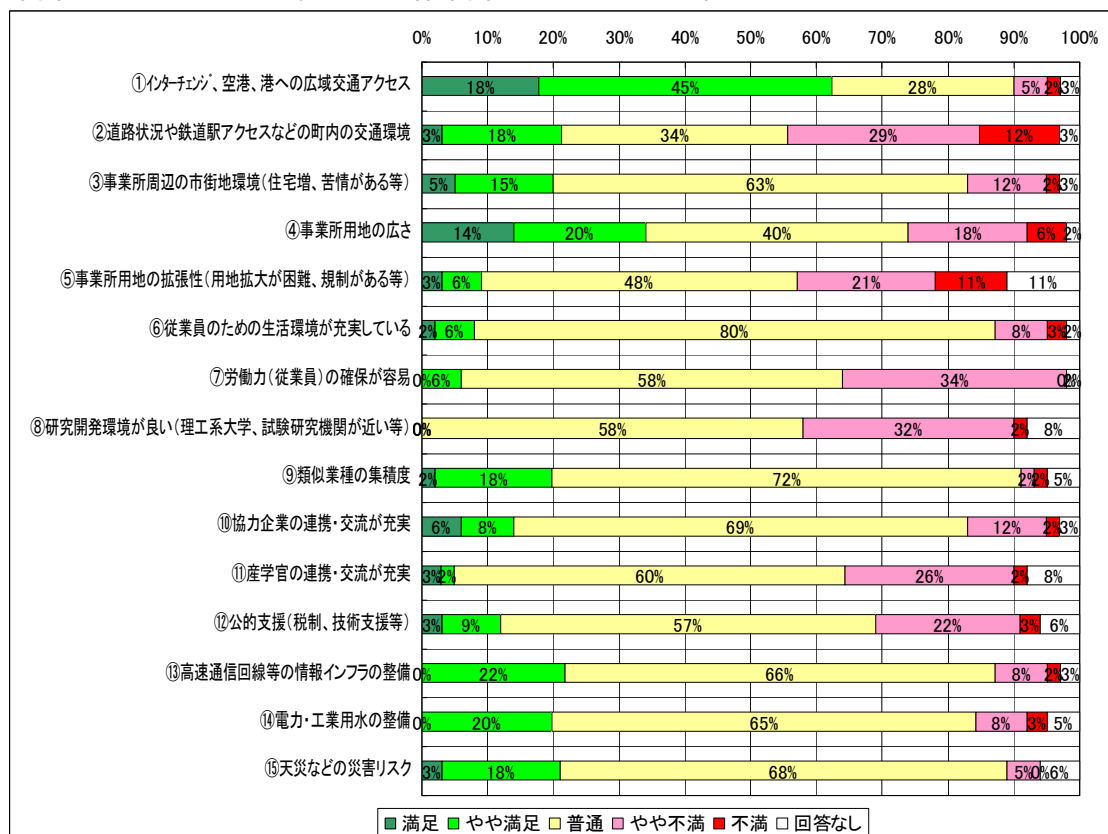
(6) 大口町耐震改修促進計画

策定年次	平成 20 年	目標年次	平成 27 年
<p>国や県が示す減災目標の実現に向けて計画的な耐震化を促進するため、「耐震改修促進法」に基づき、国の基本方針や、本町において想定される地震の規模、被害状況等、町内の耐震化の現状及び関連計画における減災目標を勘案し、具体的な目標と耐震化を促進するために取り組むべき方策を定めている。</p>			
<p><b>耐震診断の実施計画</b></p>			
<p>□町有建築物の耐震診断</p>			
<p>○大口西小学校、中小口、上小口、下小口、大屋敷、余野消防分団(車庫)</p>			
<p>□町有建築物の耐震化実施計画</p>			
<p>○大口町役場、中央公民館、大口南小学校、大口北小学校</p>			
<p><b>地震発生時に通行を確保すべき道路沿道の建築物の耐震化</b></p>			
<p>□県緊急輸送道路：17 棟</p>			
<p>□その他地震発生時に通行を確保すべき道路(避難路等)：48 棟</p>			
<p><b>住宅の耐震化率目標</b></p>			
<p>□全体の 90% を耐震化目標とし、317 戸の耐震化を推進</p>			

### 2-3 主要産業の動向

本町では、平成20年度に本町に存在する企業100社に対して、アンケート調査を実施し、65社（回収率65%）の回答を得た。このアンケート調査の調査結果の内、都市計画やまちづくりの計画を作成する上で配慮すべき事項について下記にとりまとめた。

#### 1. 大口町における事業所としての立地環境に関し、それぞれの指標について評価してください。（5段階評価で1つに○印）



立地環境に関しては、「広域交通アクセス」は満足、やや満足で過半数を超え、次いで「事業所用地の広さ」が30%を超える評価を受けている。

不満、やや不満が多い意見としては、「研究開発環境が良い」に対しての42%、次いで「町内の交通環境」、「労働力の確保が容易」、「事業所用地の拡張性」と続いている。

このことから、現状の広域交通アクセス性の高さは評価されているが、町内の交通環境や事業所の拡張といった『土地利用』や『交通』が課題とされる。

#### 2. 前問の項目の中で、貴社として特に重視するものを上位3つまで選んでください。（番号を記入）

##### (1) 第1位

最も多く重視しているとして内容は、「広域交通アクセス」であり、次いで「町内の交通環境」である。

##### (2) 第2位

第2位でも順番は異なるが「広域交通アクセス」と「町内の交通環境」としている。

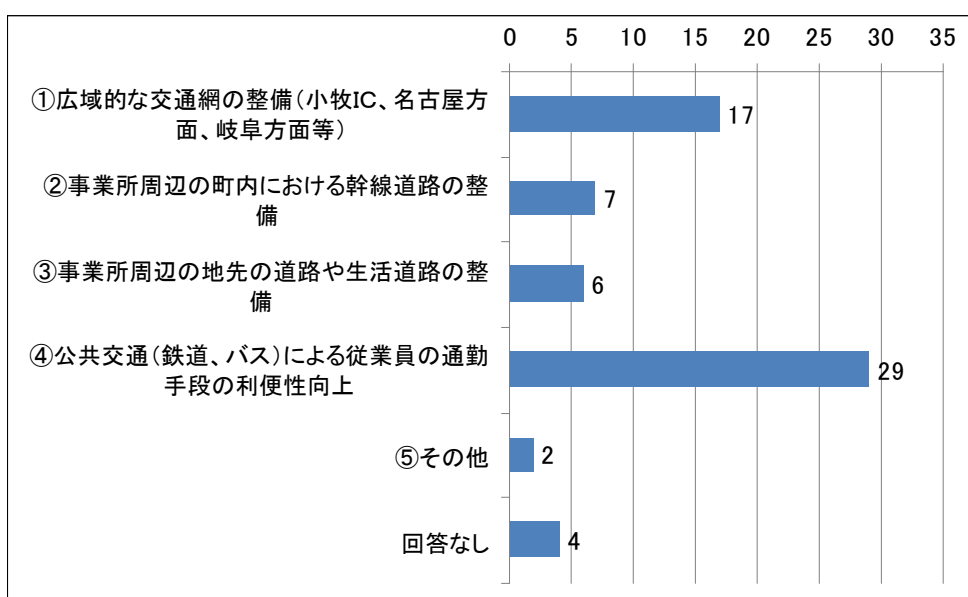
(3) 第3位

第3位で「町内の交通環境」に次ぐ意見が割れるようになり、「周辺の市街地環境」、「事業所用地の拡張性」、「労働力の確保が容易」となっている。

以上のことから、今後、企業誘致等を実施していく際には、「広域交通アクセス」の高さは評価されているが、「町内の交通環境」、「周辺の市街地環境」、「事業所用地の拡張性」といった『土地利用』や『交通』といった内容について、力を入れていくことが求められている。

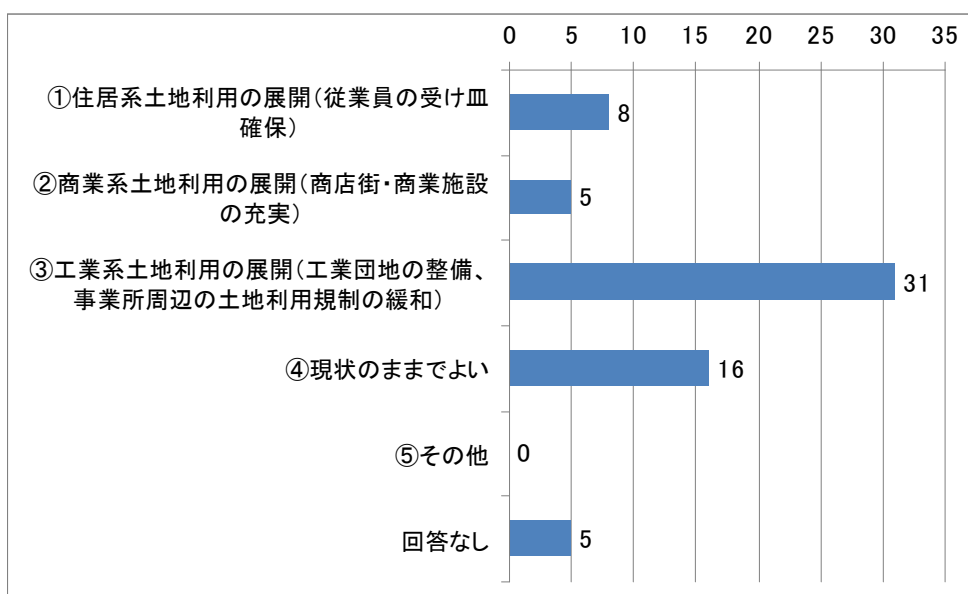
3. 今後、大口町における都市づくりに求めることは何ですか？（各視点から1つに○印）

(1) 道路交通環境の視点



以上のことから、都市づくりに求めることとして、道路交通環境としては「公共交通による従業員の通勤手段の利便性向上」と「広域的な交通網の整備」が求められている。

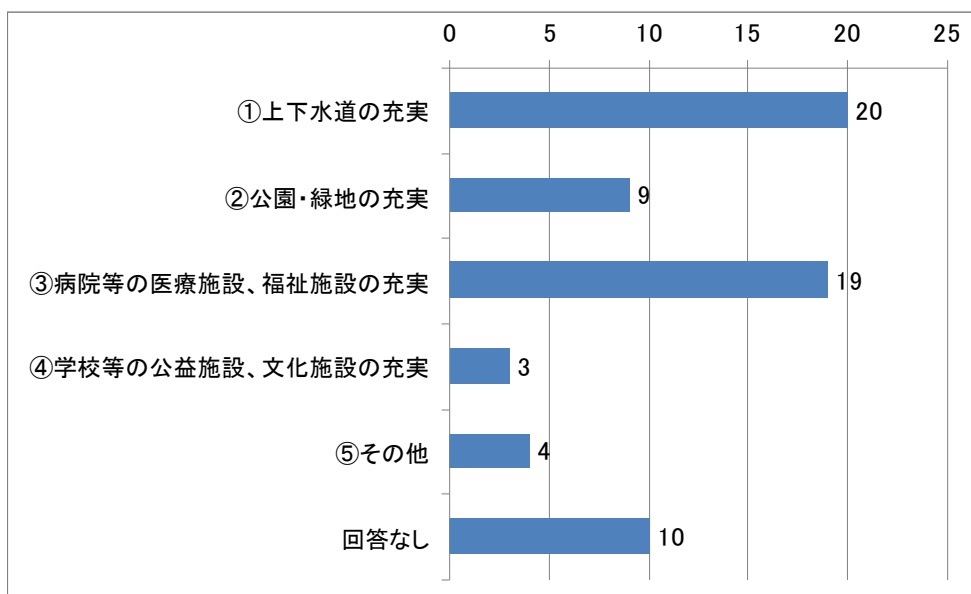
(2) 土地利用の視点





以上のことから、都市づくりに求めることとして、土地利用としては「工業系土地利用の展開」が求められている。

### (3) 都市施設の視点



以上のことから、都市づくりに求めることとして、都市施設としては「上下水道の充実」と「病院等の医療施設、福祉施設の充実」が求められている。

## 4. 主要産業の動向としてのまとめ

主要産業の視点から見た本町は、現状の広域交通アクセス性の高さは評価されているが、町内の交通環境や事業所の拡張といった『土地利用』や『交通』が課題とされ、今後の企業誘致等を検討していくためには、「町内の交通環境」、「周辺の市街地環境」、「事業所用地の拡張性」に重点を置いていくことが必要とされる。

また、主要産業から見た都市づくりとしては、

- 道路交通環境：①「公共交通による従業員の通勤手段の利便性向上」  
②「広域的な交通網の整備」
- 土地利用：①「工業系土地利用の展開(工業団地の整備、事業所周辺の土地利用規制の緩和)」
- 都市施設：①「上下水道の充実」  
②「病院等の医療施設、福祉施設の充実」

が求められている。

## 2-4 住民アンケートによる意向

### 1. 第6次総合計画策定にかかる住民意識調査

本町では、第6次総合計画策定に伴い平成17年度に本町の20歳以上の町民1,600人に対して、アンケート調査を実施した。有効回収数854票(回収率53.4%)。

なお、本計画では、このアンケート調査から都市計画等によるまちづくりに関連する事項の意見を抽出し、次頁に整理した。

## 大口町都市計画マスタープラン

### (1) 大口町で行う地域づくりや施策、事業の現状についての満足度と重要度

#### ①満足度

項目	満足	やや満足	やや不満	不満
下水道・農業集落排水などの整備	16.0	42.9	24.6	13.0
歩道の歩きやすさ・安全性	5.2	32.4	43.3	17.6
河川や緑など地域の自然の保全	16.7	55.7	22.6	3.7
家庭ごみの減量化・リサイクル	17.2	52.2	23.8	5.5
緑地・公園など憩いの空間	15.9	44.6	29.2	8.3
街灯や道路脇花壇など住みやすい住宅地整備	8.4	38.3	40.0	11.7
自動車での移動が便利な道路網の整備	17.0	49.8	24.9	6.1
インターネットなどの情報基盤の整備	9.0	48.5	25.5	7.0
鉄道などの交通の利便性	9.3	26.3	33.8	28.7
巡回バスの利便性	11.1	34.1	32.0	19.7
農業に対する振興支援策	9.5	48.5	21.3	6.3
商工業に対する振興支援策	5.9	50.1	24.2	4.2
町内企業や事業所における雇用	6.0	43.3	30.8	7.6
小中学校における教育内容	7.1	43.1	27.6	9.8
学校と地域や家庭との連携	6.0	47.2	29.6	6.0
生涯学習講座のメニューや数	8.5	49.2	26.1	6.9
スポーツ施設の数や設備	13.5	47.9	25.3	7.7
スポーツ活動、教室のメニューや数	9.3	50.7	25.9	6.0
家庭教育指導などの青少年の健全育成	3.9	38.9	38.5	8.1
文化施設の数や設備	12.9	50.8	24.6	6.0
芸術文化活動などの機会	8.0	45.4	32.2	5.6
コミュニティ施設の数や設備	22.6	55.2	14.8	4.2
区の活動や地域の活動	13.3	53.3	24.2	6.0
NPO・ボランティア活動などへの支援	7.5	52.7	24.1	3.2
外国や地域に住む外国人との交流	5.0	39.2	35.2	5.7
人権に関する理解・啓発に対する取り組み	4.3	43.9	32.1	5.6
地震や水害など防災に対する安心感	4.1	33.0	40.7	16.6
交通事故からの安全性	2.8	36.3	43.9	11.0
犯罪にあうことのない安心感	3.0	29.0	43.3	19.4
健康診断・保健指導などの健康づくり	14.1	57.3	19.2	4.4
町内における医療サービス	9.3	45.7	29.7	9.4
住民同士の助け合いによる地域福祉活動	5.3	43.9	36.2	6.7
生活支援・介護サービスなどの高齢者福祉	7.0	44.4	31.9	6.6
生活・自立支援などの障害者(児)福祉	6.2	47.8	27.5	4.7
保育サービスや相談支援などの子育て環境	5.9	51.8	24.4	4.6
町政への住民参画の機会や場	5.2	42.4	34.5	7.8
広報などによる町の情報提供・情報公開	17.4	56.1	16.5	4.3
受付・窓口などにおける町職員の対応	14.2	45.7	24.5	11.5

満足度については、「歩道の歩きやすさ、安全性」、「鉄道などの交通の利便性」、「地震や水害など防災に対する安心感」、「交通事故からの安全性」、「街灯や道路脇花壇など住みやすい住宅地整備」及び「犯罪にあうことのない安心感」がやや不満、不満50%以上となっている。

## ②重要度

項目	非常に重要	重要	あまり重要でない	重要でない
下水道・農業集落排水などの整備	25.9	56.1	11.2	2.7
歩道の歩きやすさ・安全性	35.2	57.1	4.2	0.8
河川や緑など地域の自然の保全	26.9	61.2	8.1	0.9
家庭ごみの減量化・リサイクル	41.0	53.4	2.8	0.4
緑地・公園など憩いの空間	18.3	60.3	16.5	1.6
街灯や道路脇花壇など住みやすい住宅地整備	19.7	61.4	15.2	0.9
自動車での移動が便利な道路網の整備	17.7	56.0	20.4	2.5
インターネットなどの情報基盤の整備	9.8	47.1	28.2	5.3
鉄道などの交通の利便性	25.3	55.6	13.9	2.0
巡回バスの利便性	16.6	43.3	29.5	7.6
農業に対する振興支援策	9.0	44.0	26.0	8.8
商工業に対する振興支援策	8.4	45.3	25.1	7.4
町内企業や事業所における雇用	16.3	51.5	18.0	3.3
小中学校における教育内容	45.4	39.8	3.6	0.9
学校と地域や家庭との連携	37.6	45.8	5.0	1.4
生涯学習講座のメニューや数	10.3	48.6	28.3	3.4
スポーツ施設の数や設備	10.3	56.8	23.8	2.8
スポーツ活動、教室のメニューや数	8.1	49.1	29.6	4.8
家庭教育指導などの青少年の健全育成	32.0	48.5	8.9	1.3
文化施設の数や設備	10.2	52.2	27.0	4.3
芸術文化活動などの機会	5.5	44.6	35.0	5.9
コミュニティ施設の数や設備	10.2	52.8	27.0	5.3
区の活動や地域の活動	11.6	57.3	22.0	4.9
NPO・ボランティア活動などへの支援	9.5	54.6	20.7	4.1
外国や地域に住む外国人との交流	4.4	43.4	33.1	6.6
人権に関する理解・啓発に対する取り組み	12.3	55.3	16.9	2.5
地震や水害など防災に対する安心感	56.6	35.5	1.4	0.4
交通事故からの安全性	45.4	45.6	2.5	0.2
犯罪にあうことのない安心感	58.0	34.7	1.2	0.4
健康診断・保健指導などの健康づくり	31.7	56.7	4.6	0.8
町内における医療サービス	37.8	51.5	3.3	0.5
住民同士の助け合いによる地域福祉活動	19.1	62.6	9.4	1.4
生活支援・介護サービスなどの高齢者福祉	34.4	51.4	4.7	1.3
生活・自立支援などの障害者(児)福祉	25.8	56.4	5.0	0.8
保育サービスや相談支援などの子育て環境	27.8	53.6	5.9	0.8
町政への住民参画の機会や場	14.2	55.5	18.6	2.5
広報などによる町の情報提供・情報公開	23.2	60.4	8.9	0.8
受付・窓口などにおける町職員の応対	27.8	56.0	9.4	1.4

重要度としては、非常に重要が50%を超える「地震や水害など防災に対する安心感」や「犯罪にあうことのない安心感」、重要を含め90%を超える「歩道の歩きやすさ・安全性」、「家庭ごみの減量化・リサイクル」、「交通事故からの安全性」と回答している。

(2) 大口町で特に力を入れて取り組むべき施策

(1)の施策について、今後特に力を入れて取り組むべき施策を聞いたところ、有効回答数854票に対して、47.4%の方が「地震や水害など防災に対する安心感」、42.5%の方が「犯罪にあうことのない安心感」となっており、その他は20%程度となり、特にこの2つの施策の必要性が求められ、重要を含め90%を超える「歩道の歩きやすさ・安全性」、「家庭ごみの減量化・リサイクル」、「交通事故からの安全性」などの必要性も取り組むべき施策とされる。

(3) 町民意向(第6次総合計画)としてのまとめ

町民意向(第6次総合計画)の視点から見た本町は、「地震、水害といった自然災害」、「交通事故からの安全性」や「犯罪にあうことのない安心感」といった都市に対する安心、安全を求めている、さらには地球温暖化やエコといったキーワードが一般的になりつつあることなども踏まえ、「家庭ごみの減量化・リサイクル」といった住みやすい都市づくりを求めている、この内容に対する施策強化並びに実現化が必要とされる。このことから、町民意向(第6次総合計画)から見た都市づくりとしては、

○道路交通環境：①「鉄道などの交通の利便性」の向上
②「交通事故からの安全性」の向上
③「歩道の歩きやすさ、安全性」の向上
④「犯罪にあうことのない安心感」の向上(道路のみではない)
○都市施設：①「地震や水害など防災に対する安心感」の向上
○都市環境：①「家庭ごみの減量化・リサイクル」の向上

が求められている。

2. 本計画による住民意識調査

本計画においても、広く町民の意見を反映するため、15歳以上の町民1,000人及び大口中学校の協力により中学生を対象に、アンケート調査を実施した。町民有効回収数465票(回収率46.5%)、中学生672票。

なお、このアンケート調査結果から都市計画等によるまちづくりに関連する事項の意見を抽出し、以降に整理した。

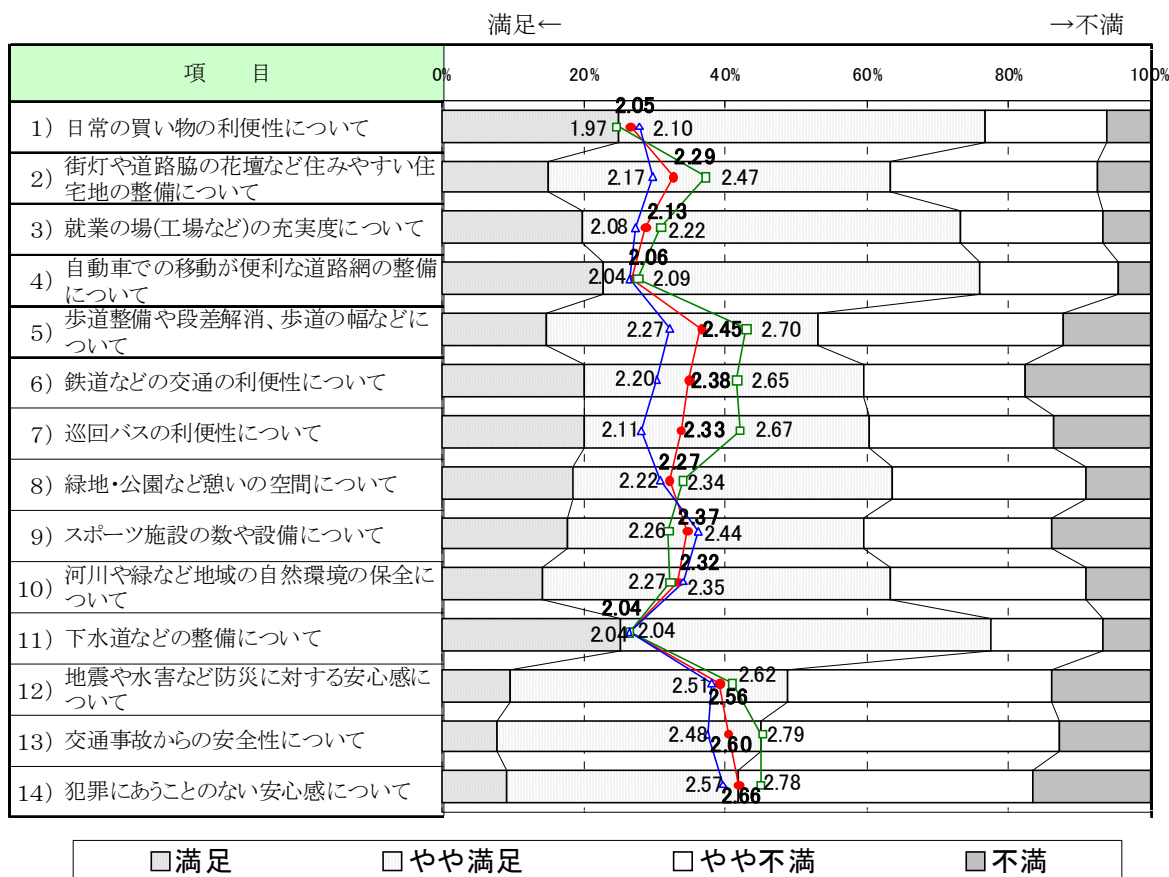
(1) 「お住まいの地域」について、どの程度満足されていますか。

「満足度」

[件数]

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	計	平均値
1) 日常の買い物の利便性について	274	574	191	67	22	1128	2.05
2) 街灯や道路脇の花壇など住みやすい住宅地の整備について	164	535	323	82	23	1127	2.29
3) 就業の場(工場など)の充実度について	209	566	212	69	71	1127	2.13
4) 自動車での移動が便利な道路網の整備について	246	579	213	49	41	1128	2.06
5) 歩道整備や段差解消、歩道の幅などについて	161	421	381	135	30	1128	2.45
6) 鉄道などの交通の利便性について	221	435	250	195	27	1128	2.38
7) 巡回バスの利便性について	222	442	287	149	28	1128	2.33
8) 緑地・公園など憩いの空間について	202	496	299	99	32	1128	2.27
9) スポーツ施設の数や設備について	194	455	291	152	36	1128	2.37
10) 河川や緑など地域の自然環境の保全について	154	533	299	99	42	1127	2.32
11) 下水道などの整備について	271	565	174	70	48	1128	2.04
12) 地震や水害など防災に対する安心感について	103	428	403	152	42	1128	2.56
13) 交通事故からの安全性について	82	408	457	140	41	1128	2.60
14) 犯罪にあうことのない安心感について	97	360	454	180	37	1128	2.66

※平均値(満足・・・1、やや満足・・・2、やや不満・・・3、不満・・・4) 無回答は除く。複数回答は集計除外とした。



※平均値(満足・1、まあ満足・2、やや不満・3、不満・4)

- 平均値
- 町民のみ
- △—△ 中学生のみ

(2) 「お住まいの地域」について、今後のまちづくりにおいて、どれくらい重要であると思われますか。

「重要度」

[件数]

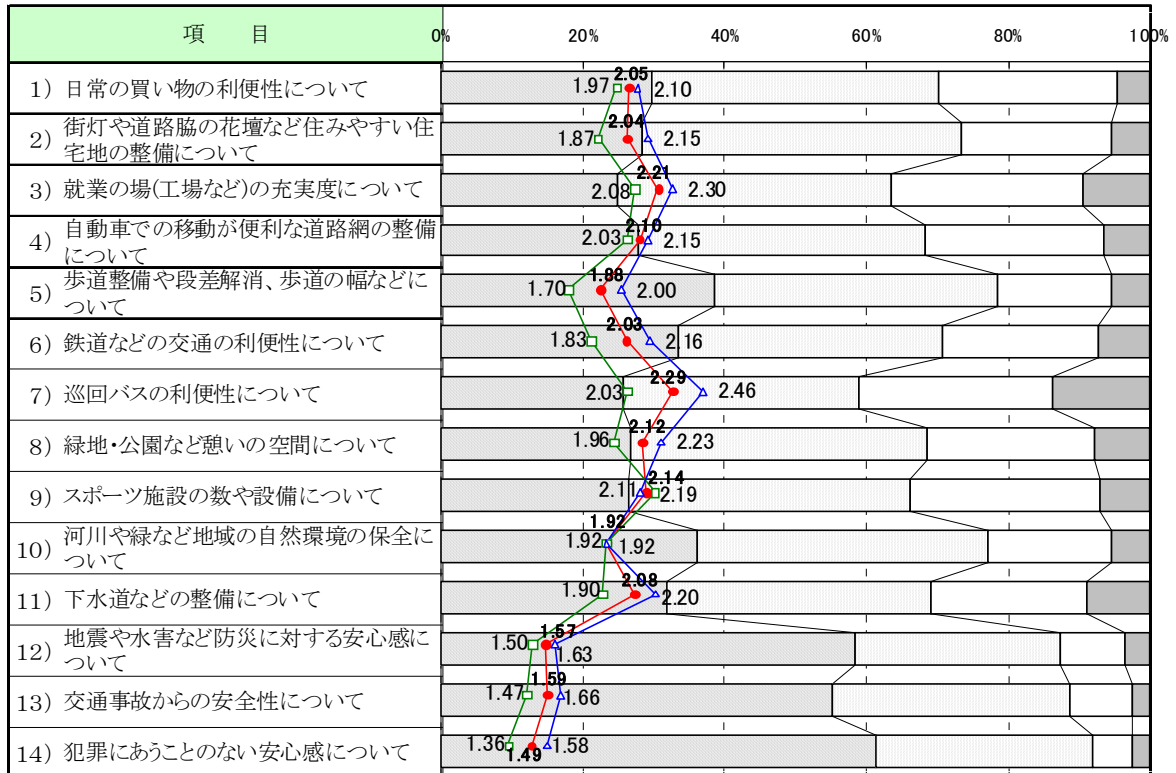
項目	重要	やや重要	あまり重要でない	重要でない	無回答	計	平均値
1) 日常の買い物の利便性について	321	440	272	50	44	1127	2.05
2) 街灯や道路脇の花壇など住みやすい住宅地の整備について	308	492	230	60	38	1128	2.04
3) 就業の場(工場など)の充実度について	263	406	287	99	73	1128	2.21
4) 自動車での移動が便利な道路網の整備について	297	434	271	68	58	1128	2.10
5) 歩道整備や段差解消、歩道の幅などについて	420	434	175	59	40	1128	1.88
6) 鉄道などの交通の利便性について	363	405	238	79	43	1128	2.03
7) 巡回バスの利便性について	278	361	298	149	41	1127	2.29
8) 緑地・公園など憩いの空間について	288	450	253	83	54	1128	2.12
9) スポーツ施設の数や設備について	283	426	288	74	57	1128	2.14
10) 河川や緑など地域の自然環境の保全について	384	441	186	56	61	1128	1.92
11) 下水道などの整備について	340	396	237	93	62	1128	2.08
12) 地震や水害など防災に対する安心感について	625	308	99	36	59	1127	1.57
13) 交通事故からの安全性について	591	357	97	25	58	1128	1.59
14) 犯罪にあうことのない安心感について	661	328	61	27	51	1128	1.49

※平均値(重要・1、やや重要・2、あまり重要でない・3、重要でない・4) 無回答は除く。複数回答は集計除外とした。

# 大口町都市計画マスタープラン

重要度が高い←

→重要度が低い



重要   
 やや重要   
 あまり重要でない   
 重要でない

※平均値(重要・・・1、やや重要・・・2、あまり重要でない・・・3、重要でない・・・4)

●—● 平均値  
 □—□ 町民のみ  
 △—△ 中学生のみ

- 満足度の高いもの : 「日常の買い物の利便性」  
 「自動車での移動が便利な道路網の整備」  
 「下水道などの整備」

※「就業の場(工場など)の充実度」町民意向で高いもの

- 不満度の高いもの : 「地震や水害など防災に対する安心感」  
 「交通事故からの安全性」  
 「犯罪にあうことのない安心感」

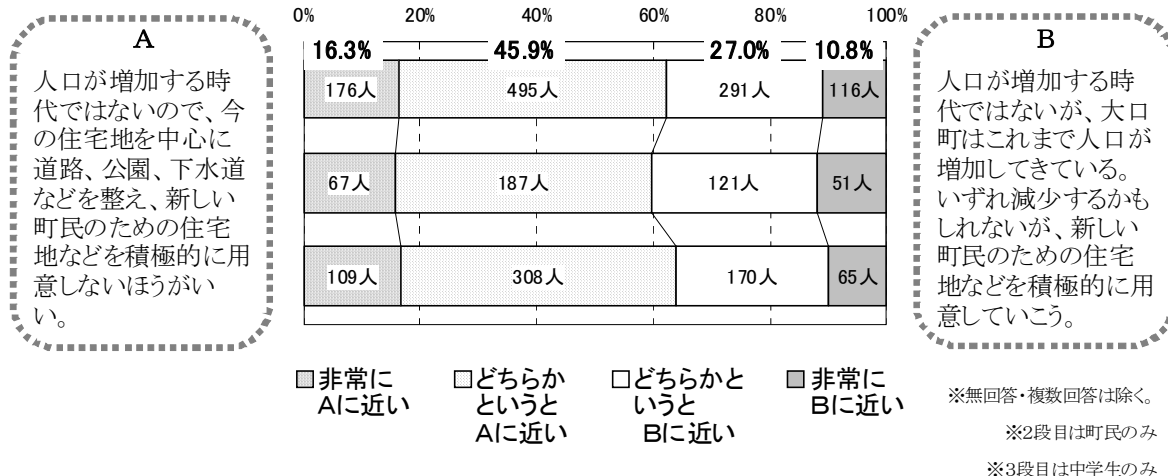
※「歩道整備や段差解消、歩道の幅など」町民意向で高いもの

↓今後のまちづくりにおいて、重要なもの

- 重要度の高いもの : 「地震や水害など防災に対する安心感」  
 「交通事故からの安全性」  
 「犯罪にあうことのない安心感」

(3) 大口町の現状から今後どのようなまちづくりをお考えでしょうか？

①住宅地のまちづくりへのお考え

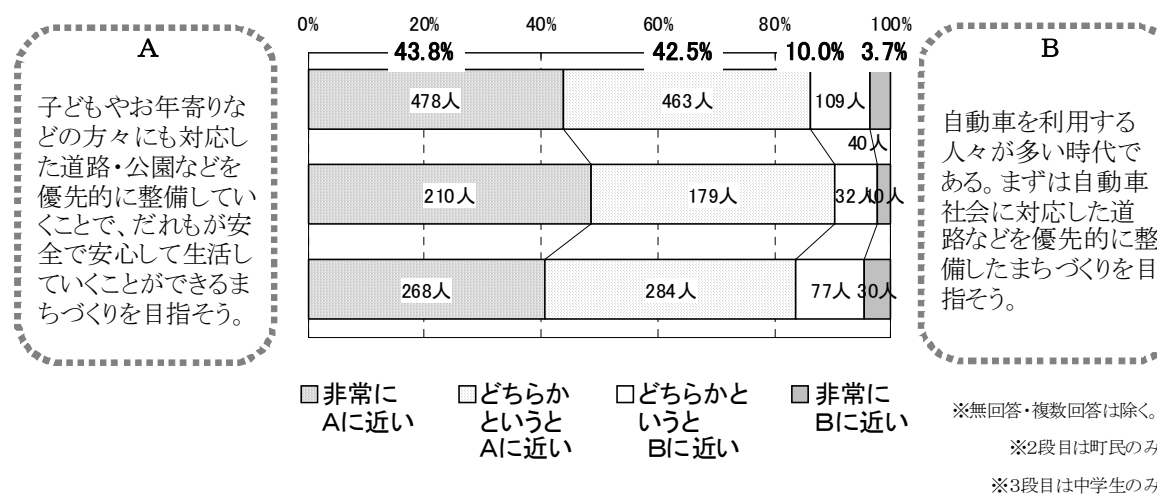


全体の60%強(非常に16.3%、どちらかというとは45.9%)の方が「人口が増加する時代ではないので、今の住宅地を中心に道路、公園、下水道などを整え、新しい町民のための住宅地などを積極的に用意しないほうがいい。」と回答している。

※1：町 民意向－(非常に15.7%、どちらかというとは43.9%)→59.6%

※2：中学生意向－(非常に16.7%、どちらかというとは47.2%)→63.9%

②道路・公園などのまちづくりへのお考え

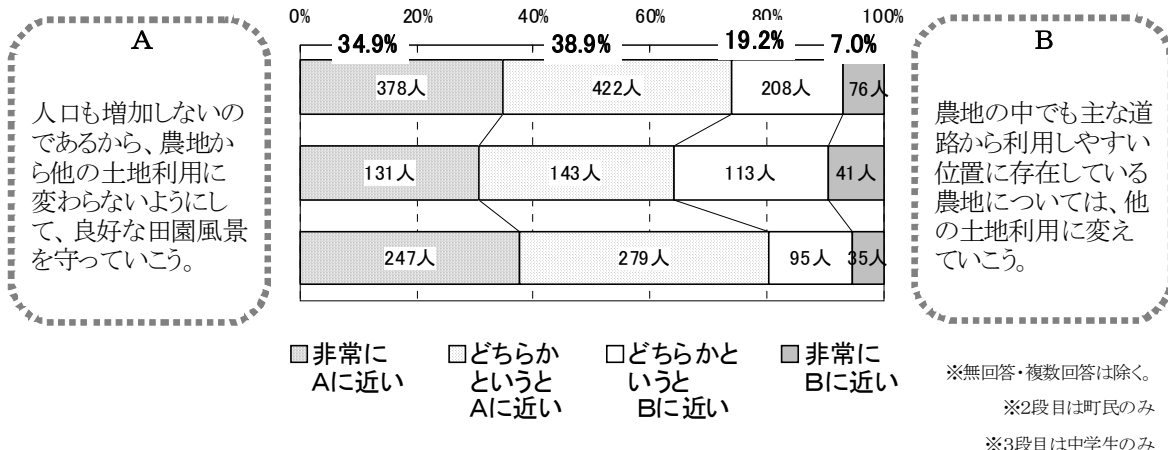


全体の80%強(非常に43.8%、どちらかというとは42.5%)の方が「子どもやお年寄りなどの方々にも対応した道路・公園などを優先的に整備していくことで、だれもが安全で安心して生活していくことができるまちづくりを目指そう。」と回答している。

※1：町 民意向－(非常に48.7%、どちらかというとは41.5%)→90.2%

※2：中学生意向－(非常に40.7%、どちらかというとは43.1%)→83.8%

③農地などのまちづくりへのお考え

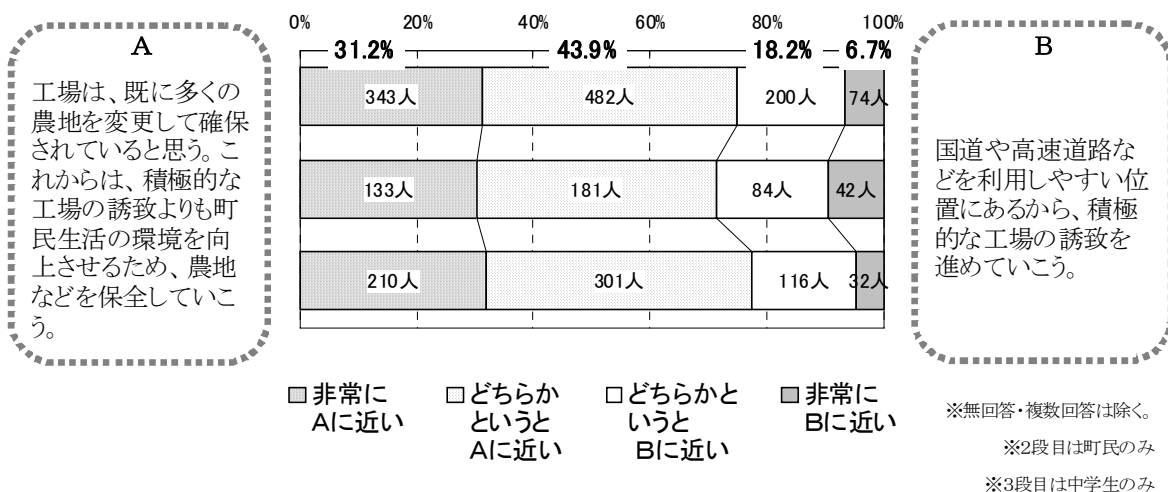


全体の70%強(非常に**34.9%**、どちらかという**38.9%**)の方が「人口も増加しないのであるから、農地から他の土地利用に変わらないようにして、良好な田園風景を守っていこう。」と回答している。

※1：町 民意向－(非常に**30.6%**、どちらかという**33.4%**)→**64.0%**

※2：中学生意向－(非常に**37.7%**、どちらかという**42.5%**)→**80.2%**

④工業などのまちづくりへのお考え



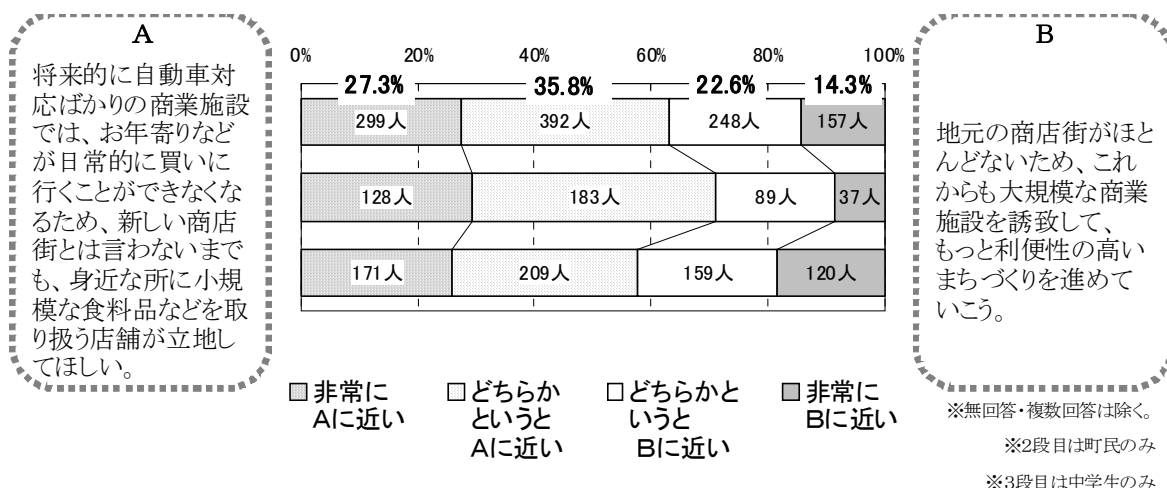
全体の70%強(非常に**31.2%**、どちらかという**43.9%**)の方が「工場は、既に多くの農地を変更して確保されていると思う。これからは、積極的な工場の誘致よりも町民生活の環境を向上させるため、農地などを保全していこう。」と回答している。

※1：町 民意向－(非常に**30.2%**、どちらかという**41.1%**)→**71.3%**

※2：中学生意向－(非常に**31.9%**、どちらかという**45.7%**)→**77.6%**



⑤商業などのまちづくりへのお考え

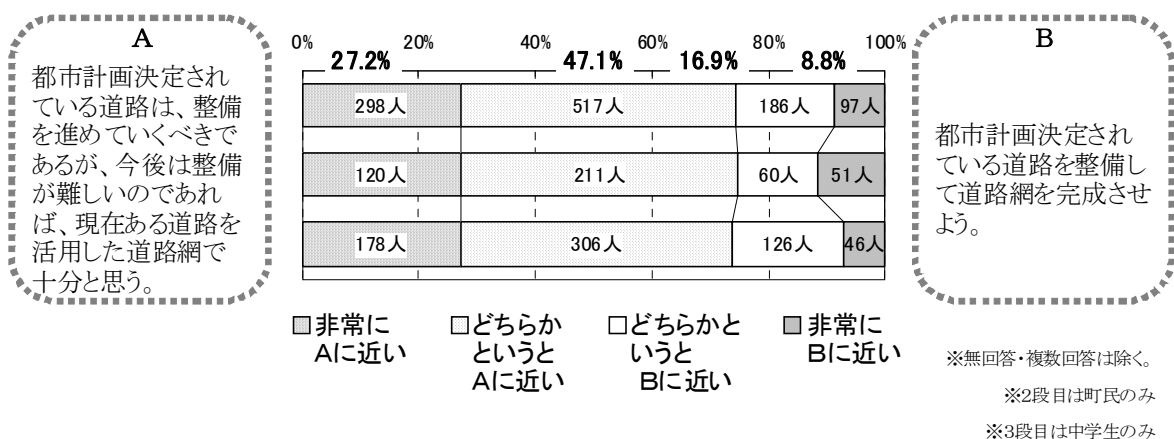


全体の60%強(非常に**27.3%**、どちらかという**35.8%**)の方が「将来的に自動車対応ばかりの商業施設では、お年寄りなどが日常的に買いに行くことができなくなるため、新しい商店街とは言わないまでも、身近な所に小規模な食料品などを取り扱う店舗が立地してほしい。」と回答している。

※1：町 民意向－(非常に**29.3%**、どちらかという**41.9%**)→**71.2%**

※2：中学生意向－(非常に**26.0%**、どちらかという**31.7%**)→**57.7%**

⑥道路整備へのお考え

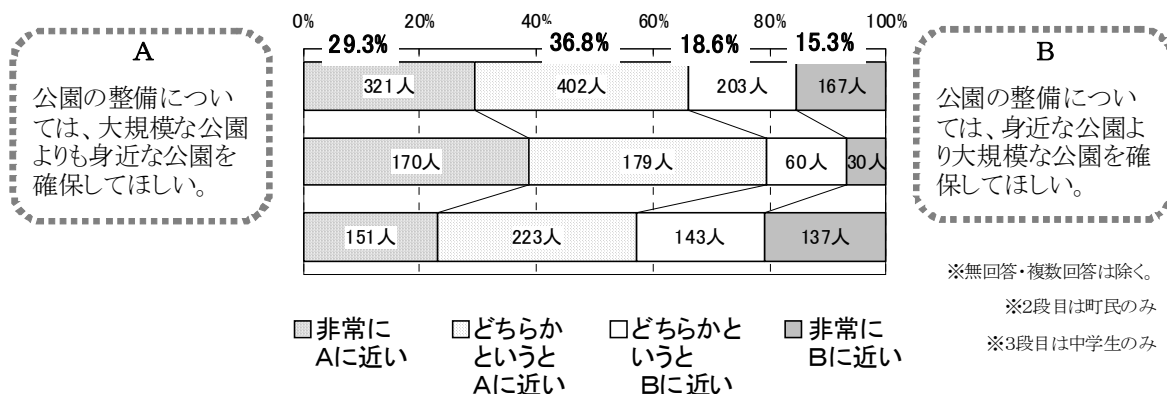


全体の70%強(非常に**27.2%**、どちらかという**47.1%**)の方が「都市計画決定されている道路は、整備を進めていくべきであるが、今後は整備が難しいのであれば、現在ある道路を活用した道路網で十分と思う。」と回答している。

※1：町 民意向－(非常に**27.2%**、どちらかという**47.7%**)→**74.9%**

※2：中学生意向－(非常に**27.1%**、どちらかという**46.7%**)→**73.8%**

⑦公園整備へのお考え



全体の60%強(非常に29.3%、どちらかというとは36.8%)の方が「公園の整備については、大規模な公園よりも身近な公園を確保してほしい。」と回答している。

※1：町 民意向－(非常に38.7%、どちらかというとは40.8%)→79.5%

※2：中学生意向－(非常に23.1%、どちらかというとは34.1%)→57.2%

(4) 住民意識調査のまとめ

住民意識としては、総合計画での町民意向と同様な方向である「地震や水害など防災に対する安心感」、「交通事故からの安全性」、「犯罪にあうことのない安心感」について、重要という意見が多い状況にあった。

まちづくりの具体内容としては、「現状の住宅地における道路・公園・下水道を整える」や「積極的な工場の誘致よりも町民生活の環境を向上させるため、農地などを保全」、「田園風景を守る」、「身近なところに食料品を取り扱う店舗の立地」を求める意見が出ていた。

また、都市施設である道路、公園などについては、「だれもが安全で安心して生活していくことができるまちづくりを目指した道路・公園の整備」、「現在ある道路を活用した道路網の整備」、「大規模な公園より身近な公園の確保」を求められている。

特に、「非常に」必要性を求める回答としては、道路・公園などのまちづくりで「だれもが安全で安心して生活していくことができるまちづくり」を目指していくことが望まれている。